

## 蝦名市長もラブコールを送った

### 作家 小手鞠るいさんの鉦路舞台恋愛小説が実現

「僕等がいた」など、純愛映画のロケ地として最近注目を集めている鉦路市だが、このたび新たな恋愛小説の舞台となる。

作者は、「エンキョリレンアイ」シリーズ3部作などの著作で知られるニューヨーク在住の恋愛小説家・小手鞠るいさん。現在鉦路を舞台にした小説を執筆中で、石井兄弟社（東京）から来年出版される見通しだ。

仕掛け人はこの小説を出版する前出の石井兄弟



▲小手鞠るいさん(本人提供)

社社長の石井至さん。鉦路育ちの石井さんは4年前、鉦路湖陵高校の同窓会で同市を訪れた際、メインスタリートである北大通がシャッター商店街になっていることに心を痛め、街の活性化に寄与したい気持ちから「恋愛小説によるまちおこし」を考えたといい。

石井さんは小手鞠さんのファンで、同社の文芸進出第1弾として小手鞠さんに執筆依頼をしていたところ、今回の鉦路のまちおこしと結びつけられないかと考えた。そこで高校の同窓である蝦名大也鉦路市長に相談、蝦名市長も賛同し、小手鞠さん宛てに、「一度鉦路に来ていただき、鉦路を舞台にした恋愛小説を書いてほしい」という旨の「ラブレター」を市長自ら書き、それを携えて、石井さんはニューヨークの小手鞠さんのもとを訪れ、実現の運びとなった。

小手鞠さんは、「鉦路を思う二人の気持ちがとてもよく伝わりました。鉦路という具体的な地名が出てきたことで、執筆へのモチベーションがぐんと高まりました」とその時の心境を振り返る。昨年9月の鉦路大漁どさんばくにあわせ、小手鞠さんが取材旅行のため初めて来道、石井さんが鉦路の名所や名物を案内した。 「実際に訪れたことで、例えばこの場所で二人がほんの少しの行き違いですれ違ってしまおうとか、小説のイメージが具体的に固まりましたね」（前出・小手鞠さん）

それに合わせ小手鞠さんや蝦名市長らが審査員を努め、小説の表紙のモデルオーディションが開催されモデルが決定、表紙の撮影は今年3月に終了している。

この小説は読者が鉦路を訪れたいくなるような、鉦路の魅力満載の内容のようで、ノロッコ号を始めたとした実在の場所や名物などが登場する。

映画化の構想もあり、角川春樹事務所との顧問でもある石井さんは、「その時は自分が監督を務めたい」と期待を込める。小説のタイトルは未定

夢大きく更に前進!

(株)トミイチ TOMIICHI

〒079-8451 旭川市永山北1条10丁目